



霞 城 コ ン パ ス

進路情報 第10号 平成26年10月14日発行

卒業年次生にとって進路達成のために大切な10月

〈就職〉

現時点での卒業予定者の希望状況と合格状況を下記に記載しました。今年就職内定数が「11名」と例年以上に好調です。

今年就職の傾向として、アベノミクスの余波が山形県にもようやく届いたのか、景気回復の見込みから多くの企業が求人を早期に出してくれています。職種についても、本校生徒の多くが希望する製造業が昨年度は求人が少なかったのですが、今年例年並みに増加しており、全体的にも求人倍率1.73と、ここ10年の中で最も皆さんに有利な状況になっています。

本校生徒も、意欲的に取り組んだ結果が内定に結びついたのだと思います。残念ながら内定に至らなかった人も、今年次への応募に向かおうとする姿勢が意欲的です。これは大変素晴らしいことです。就職は「恋愛」にもたとえられることが多く、「両思い＝相思相愛」で内定が出ると思ってください。1回目の試験で不合格だったとしてもそれは皆さんを否定するものではありません。相性が悪かっただけです。就職は「人物」を見るので、粘り強く誠意をもって臨めば内定の道は開かれます。**そのためにはまず行動することです。**



〈進学〉

多くの専門学校や私立大学（短大）の推薦入試が始まる季節になりました。各自出願に必要な書類などを準備し、担当の先生に指導をしていただきましょう。先生方は忙しいので、言われるまで待ってはいけません、自ら考え行動することです。推薦では、志望理由や面接・作文などに重きを置かれます。自分ではいいと思っても社会的な視点で見ると未熟なもので、どの学校の生徒も多くの時間をかけて指導してもらっています。社会的に認められるものに訓練することは大切です。そして、何よりも調査書などの発行はすぐにはできませんので、余裕を持って請求するようにしましょう。



センター試験や私大の一般受験を考えている人は、ここからどう学習するかで学力がついてきます。他の受験生も必死で学習し判定を大きく上げる努力をします。進研模試で判定をみて一喜一憂しても意味はありません。何が弱点か？どうしたらそれを克服できるかという手立てを考え、一つひとつつぶしていくことです。そして、あきらめずに学習に臨むには体調管理は何より大切です。

■ 平成27年3月卒業予定者の進路希望・合格状況

10月10日現在

	I 部	II 部	III 部	合計	合格・内定
4年制大学	6	5	0	11<13>	0(1)
短期大学	0	2	1	3<3>	0(0)
専門学校	11	10	4	25<16>	1(2)
就職	9	14	10	33<35>	10(4)
その他	1	3	3	7<5>	—(—)
合計	27	34	18	79<72>	11(7)

※ ()内は昨年度10月10日現在実績。< >は昨年度希望者数。

※ 大学入試センター試験出願予定者6名(昨年11名)

「第2回進路希望調査」の結果がまとまりました。

— 進学希望者 51.3%＜4月 50.2%＞・就職希望者 48.7%＜4月 49.8%＞ —

第2回「進路希望調査」結果がまとまりました。

★ 進学希望者数(カッコ内は4月の調査)

	I 部				II 部				III 部				計
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	
大 学	10 (8)	6 (5)	8 (7)	0 (2)	5 (5)	2 (3)	5 (6)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	37 (39)
短 大	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	6 (9)
専 門	6 (7)	4 (6)	15 (14)	2 (2)	11 (15)	11 (10)	9 (10)	4 (3)	6 (4)	3 (3)	3 (3)	2 (4)	76 (81)
合 計	16 (16)	10 (12)	23 (21)	2 (4)	16 (21)	13 (14)	14 (16)	6 (7)	6 (4)	5 (4)	5 (5)	3 (5)	119 (129)

★ 就職希望者数(カッコ内は4月の調査)

	I 部				II 部				III 部				計
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	
民 間	10 (17)	11 (11)	12 (12)	3 (2)	17 (20)	12 (12)	12 (10)	9 (8)	5 (7)	2 (5)	7 (7)	9 (7)	109 (118)
公 務	1 (4)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (10)
合 計	11 (21)	13 (12)	12 (13)	3 (2)	17 (22)	12 (12)	12 (11)	9 (8)	5 (7)	3 (6)	7 (7)	9 (7)	113 (128)

※未提出 4月：9名 9月：31名

〈1・2年次のみなさん〉

今回の調査をみて、1・2年次の〈就職〉希望が大幅に減少しているのが分かります。前のページにも書いておおり、今年度はここ10年で最も求人数が多い年ですが、これが皆さんの卒業時まで続くかは分かりません。何となく〈就職〉と思っていた人が、進路ガイダンスなどで真剣に進路を考え始めたのだとしたらとてもよいことです。しかし「どっちでもいい」とか「まだ先だから」といい加減に思っているとすると危ないと思います。1・2年のうちから自らの進路に取り組んでいくことはとても大切です。

今年の2年次からはジュニアインターンシップ（就業体験）に12名が参加しています。アルバイトとは違う就業体験はとても貴重な体験です。こうして外に出て「霞城学園高等学校の生徒が立派だった」と企業側に知っていただくことは本当に大切です。来年は1年生諸君の番になります、続けてください。

世の中にはどんな仕事があるのか、どんな企業があるのか、自分はどのような仕事に興味関心があるのか、今のうちからアンテナをはっておくことです。

〈進学〉は1年次に大学を目指していたが断念するというパターンが毎年多いようです。今年は4月と9月に変化はないのでこのまま目標に向かって努力してほしいと思います。大学もなんとなくで入れるほど学力的に簡単ではないし、相当な学費もかかりますし、県外に出るとなれば生活費もかかります。保護者と経済的なことも話し合い、それに応えるだけの学力向上をしなくてはなりません。

※就職・進学ともに、何となくの欠席・欠課をしないこと。あとから失敗したと思っても遅いのです。